

平成7年6月1日

罹災動物に関するアンケート調査について

会員各位 殿

謹啓
去る1月17日未明、兵庫県南部地域を襲った地震は未曾有の大災害を引き起こし、会員各位におかれましては、まさに復興の最只中と拝察申し上げます。地震直後から今日まで多忙のなか、各位には、それぞれの立場で動物の救護に当たられたことと思います。そうした個々の労苦を集め、この大災害に際し獣医師がどのように対応し、活躍したかを何とか記録に残し後に伝えるために、本アンケート調査にお応え頂き、また忌憚のないご意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。
罹災したと思われる動物の診療について、1震災直後(1月17日)から三田ならびに神戸動物救護センター設立直前まで、2動物救護センター設立から救護センターの存在が概ね周知される(2月10日)まで、および3動物救護センターがフル稼働してから今日まで、の三つの時期に分けております。それぞれ該当する項目について、数字または簡単な文章でお応えください。
アンケート集計後、会員各位には速やかに調査結果をご報告するとともに、世界獣医学会議(9月3日から、横浜市)、ヒトと動物の関係学会(10月22日、神戸市)など、様々な機会に報告し、兵庫県南部地震に際して、神戸市獣医師会々員の活躍を記録に残したいと考えております。
会員各位には、アンケート調査の目的をご理解下さり、多忙とは思いますが、何卒6月5日までにご回答下さいますようお願いいたします。

敬具
社団法人 神戸市獣医師会
会長 旗谷 昌彦

平成7年6月2日(金)

パコ動物病院 上田幸孝 先生

前略
早6月、お褒りなくご活躍のことと拝察申し上げます。過日、ファックスして頂いた方々に対する聞き取り調査について、大阪府立大学獣医学科6回生の徳野薫君が担当してくれます。その訪問スケジュール(予定)を下記のように、取り敢えず決めました。先生はじめ、皆様方のご都合があり、当然このスケジュールのように運ぶとは思いません。いずれにしても、各方々にこの旨を周知していただき、徳野君の働きが報われるようご配慮願います。
なお、アンケート調査の用紙は、本日早朝、堺市金岡郵便局(本局)より、発送しております。今土曜日までに配送されるとの目論みですが、祈るばかりです。聞き取り調査の先生方にも、旗谷会長のご願いとともに、スケジュール表を同封しておきました。
以上、万事宜しく願います。

罹災動物に関する聞き取り調査スケジュール表
大阪府立大学獣医学科6回生 徳野薫君が担当します

6月3日(土)		
午前9時頃	井本先生	井本動物病院
午前11時頃	井上先生	オレンジ動物病院
午後1時頃	尾谷先生	オタニ動物病院
午後2-3時頃	井戸坂先生	井戸坂動物病院
午後4-5時頃	圓橋先生	圓橋動物病院
午後6時頃	横幕先生	横幕獣医科医院
午後7時頃	阿地先生	阿地動物病院
午後8時頃	浪方先生	シートン動物病院
午後9時頃	森内先生	アルファ動物病院
6月4日(日)		
午前9時頃	山中先生	山中動物病院
午前11時頃	大藤先生	エルザ動物病院
午後1時頃	吉田先生	舞子坂動物病院
午後2-3時頃	旗谷先生	旗谷動物病院
午後4時頃	佐々井先生	北須磨動物病院
午後5-6時頃	福田先生	愛幸動物病院
午後7時頃	石原先生	石原動物病院
午後8-9時頃	近藤先生	近藤獣医科病院

聞き取り調査用紙に添付した手紙

罹災動物に関する聞き取り調査について

大阪府立大学獣医学科6回生徳野薫君が、同封の内容について聞き取り調査に伺います。徳野君が貴病院を訪問する時間について、別紙のスケジュールを考えております。訪問するまでに少しでも記入しておいて頂ければ、幸いです。

まさに多忙な折り、かような面倒をお掛けし、誠に心苦しいのですが、アンケート調査の主旨をご理解下さり、何卒聞き取り調査にご協力たまりますようお願いいたします。

なお、病院業務の都合上、訪問時間の変更を希望される場合は、上田幸孝先生(パコ動物病院電話078-452-2069)宛連絡下さい。もし、当日不都合の場合は、徳野君にその旨を伝え、更めて訪問を求めるか、回答用紙を郵送して下さい。また、上田先生ご不在の場合は、神戸動物救護センター(電話078-741-8112)宛、連絡してください。以上、万事宜しく願います。

(社)神戸市獣医師会々長

旗谷 昌彦

太田光明 〒593堺市学園町1-1
大阪府立大学 獣医生理学教室
電話 0722-52-1161 ext. 2485
ファックス 0722-52-0341

平成7年6月16日

罹災動物に関するアンケート調査について

会員各位 殿

謹啓

去る1月17日未明、兵庫県南部地域を襲った地震は未曾有の大災害を引き起こし、会員各位におかれましては、まさに復興の最只中と拝察申し上げます。地震直後から今日まで多忙のなか、各位には、それぞれの立場で動物の救護に当たられたことと思います。そうした個々の労苦を集め、この大災害に際し獣医師がどのように対応し、活躍したかを何とか記録に残し後に伝えるために、本アンケート調査にお応え頂き、また忌憚のないご意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。

罹災したと思われる動物の診療について、1震災直後(1月17日)から三田ならびに神戸動物救護センター設立直前まで、2動物救護センター設立から救護センターの存在が概ね周知される(2月10日)まで、および3動物救護センターがフル稼働してから今日まで、の三つの時期に分けております。それぞれ該当する項目について、数字または簡単な文章でお応えください。

尚、結果を評価する上で重要であると判断し、三つの時期に分けておりますが、不明な場合は時期にとらわれず、分かる範囲でご記入ください。

アンケート集計後、会員各位には速やかに調査結果をご報告するとともに、世界獣医学会議(9月3日から、横浜市)、ヒトと動物の関係学会(10月22日、神戸市)など、様々な機会に報告し、兵庫県南部地震に際して、兵庫県獣医師会々員の活躍を記録に残したいと考えております。会員各位には、アンケート調査の目的をご理解下さり、多忙とは思いますが、何卒6月24日までにご回答下さいますよう重ねて願います。

敬具

社団法人 兵庫県獣医師会
会長 鷲尾 勝彦